

- 問1 企業が事業資金を集める際、銀行などの金融機関を介さずに、株式や社債などを発行して家計などの資金の出し手から資金を集める仕組みを何と呼びますか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 直接金融                      2. 間接金融                      3. 信用創造                      4. 現物取引
- 
- 問2 中央銀行は、通貨の供給量を調節することで物価の安定を図ります。景気が過熱し、物価が上がりすぎると判断された際、日本銀行が市場の通貨量を減らすために行う適切な操作はどれですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
1. 減税を実施して家計の消費を増やす                      2. 保有する国債を市中銀行に売却する                      3. 市中銀行から国債を買い取る                      4. 公共事業を増やして市場にお金を流す
- 
- 問3 物価が上がり続けるインフレーションを抑制するために日本銀行が行う金融政策について、その仕組みと目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 日本銀行が民間銀行に国債を売却することで市場の通貨量を減らし、金利を上昇させて景気の過熱を抑える。                      2. 日本銀行が直接、企業の株や債券を売却することで通貨の価値を高め、輸入品の価格を下げる。                      3. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取ることで市場の通貨量を増やし、金利を低下させて消費を刺激する。                      4. 日本銀行が預金準備率を引き下げることで、民間銀行が企業へ貸し出せる資金を増やし、物価を安定させる。
- 
- 問4 中央銀行が国債などの売買を通じて市場の通貨量を調節する「公開市場操作」において、インフレーション（物価の継続的な上昇）の懸念があるなど景気が過熱している際にとられる一連の動きとその影響として、適切なものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
1. 日本銀行が民間銀行の保有する国債を買い入れることで通貨を放出し、金利を低下させることで、消費を活性化させる。                      2. 日本銀行が民間銀行に対して直接的な増税を指示し、通貨の流通量を強制的に減らすことで、物価の安定を図る。                      3. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売ることで通貨を回収し、金利を上昇させることで、企業の投資を抑制する。                      4. 日本銀行が民間銀行に対して国債の発行を停止させ、通貨の新規発行を抑えることで、市場を沈静化させる。
- 
- 問5 日本銀行が実施する「金融政策」について、不況時に景気を下支えするために行われる具体的な仕組みとして、適切なものはどれですか。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
1. 政府が減税を実施することで、家計が自由に使えるお金を増やして消費を促す。                      2. 日本銀行が国債を売却し、市場の資金量を減らして物価の上昇を抑える。                      3. 政府が所得税の累進課税を強化することで、所得の再分配を促進する。                      4. 日本銀行が国債を買い入れ、市場の資金量を増やして金利を低下させる。
- 
- 問6 家計や企業から「預金」として資金を集め、その資金を必要としている別の個人や企業に「貸し出し金」として提供するという、銀行が果たしている「仲立ち」の役割を何といいますか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
1. 通貨発行権                      2. 支払準備金制度                      3. 金融仲介機能                      4. 直接金融
- 
- 問7 昭和時代初期の歴史において、多くの銀行で預金の払い戻しができなくなり、経済が混乱した「金融恐慌」が発生しました。こうした事態において、金融システムの安定を図るために、一般の銀行に対して資金を供給し、連鎖的な倒産を防ぐ役割を担う機関を選びなさい。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
1. 日本政策金融公庫                      2. 財務省                      3. 日本銀行                      4. 公正取引委員会
- 
- 問8 日本の実質経済成長率の推移をたどると、2008年から2009年にかけて数値が急落し、2009年度にマイナス5.7%という極めて低い数値を記録した時期があります。この要因となった世界的な経済危機の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. 第1次石油危機（オイル・ショック）                      2. 世界金融危機（リーマン・ショック）                      3. プラザ合意後の円高不況                      4. アジア通貨危機
- 
- 問9 家計・企業・銀行の三者の間で行われる資金の循環について、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 銀行は、家計から集めた預金を原資として企業などに貸し出しを行い、借り手から支払われる利子を受け取る。                      2. 家計は、銀行に預金を行うことで利子を支払う義務が生じ、その資金は政府の財政政策にのみ使用される。                      3. 銀行は、日本銀行から預かった資金のみを家計に貸し出し、家計は銀行に対して税金を支払う。                      4. 企業は、銀行を介さずにすべての資金を家計から直接借り入れ、その見返りとして預金準備率を操作する。
- 
- 問10 日本の金融の仕組みを説明したレポートにおいて、家計や企業が金融機関に預けた預金を、金融機関が自身の判断と責任で資金を必要とする企業などへ貸し出しを行う形態を何と呼びますか。最も適切な用語を選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 自己資金調達                      2. 直接金融                      3. 株式投資                      4. 間接金融
- 
- 問11 家計が銀行に預金をして受け取る利子を「利子A」、家計が銀行から資金を借りて銀行に支払う利子を「利子B」としたとき、銀行が利益を得て経営を成り立たせるために取られている一般的な手法として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 利子Aと利子Bの利率を、常に同じ数値に設定する。                      2. 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも低く設定する。                      3. 家計から預かった預金を、すべて無利子で他の家計に貸し出す。                      4. 利子Bの利率を、利子Aの利率よりも高く設定する。
- 
- 問12 企業の資金調達の仕組みの一つである「直接金融」に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 日本銀行が景気調整のために、市中の金融機関に対して資金を供給する。                      2. 銀行が一般の家庭から集めた預金を、必要とする企業に貸し付ける。                      3. 企業が社内の留保金を用いて、新たな設備投資の資金に充てる。                      4. 企業が株式や債券を発行し、家計などの投資家から直接資金を調達する。
- 
- 問13 銀行が家計や企業に資金を貸し出す仕組みにおいて、利子や金利が果たす役割の説明として正しいものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 景気が悪化した際には、金利を上げることで利子の支払いを増やし、世の中に出回るお金の量を減らす。                      2. 金利が上昇すると、利子の支払い負担が大きくなるため、企業は資金の借り入れを控える傾向がある。                      3. 利子は銀行が預金者に支払うものであり、企業が銀行に支払うものはすべて元金と呼ばれる。                      4. 利子の額は借りた期間に関わらず一定であり、元金の額のみによって決定される。